

2021年3月期 第2四半期

# 決算説明資料

100<sup>th</sup>

受け継ぐこと、変えること  
創業100周年

**ShinMaywa**

2020年11月17日

**新明和工業株式会社**

# 1. 連結決算サマリー

# 2. コロナ禍の対策等

# 補足資料

※当資料に掲載されている内容のうち数値は表示単位未満を切り捨て、比率は四捨五入して表示しています。

※当資料において「1Q」は3カ月累計期間、「2Q」は6カ月累計期間、「3Q」は9カ月累計期間、「通期」は12カ月累計期間を示しています。

# 1 連結決算サマリー

---

前年同期比

- ✓ コロナ禍の影響等により、全てのセグメントで減収
- ✓ 減収に伴い、減益

(単位：百万円)

	2020.3期 2Q	2021.3期 2Q	増減 (増減率)
売上高	108,098	93,783	△14,315 (△13.2%)
営業利益	6,099	3,807	△2,292 (△37.6%)
経常利益	5,826	3,824	△2,002 (△34.4%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,670	2,107	△1,562 (△42.6%)
為替レート (1USドル)	109.0円	107.1円	

 : 過去最高

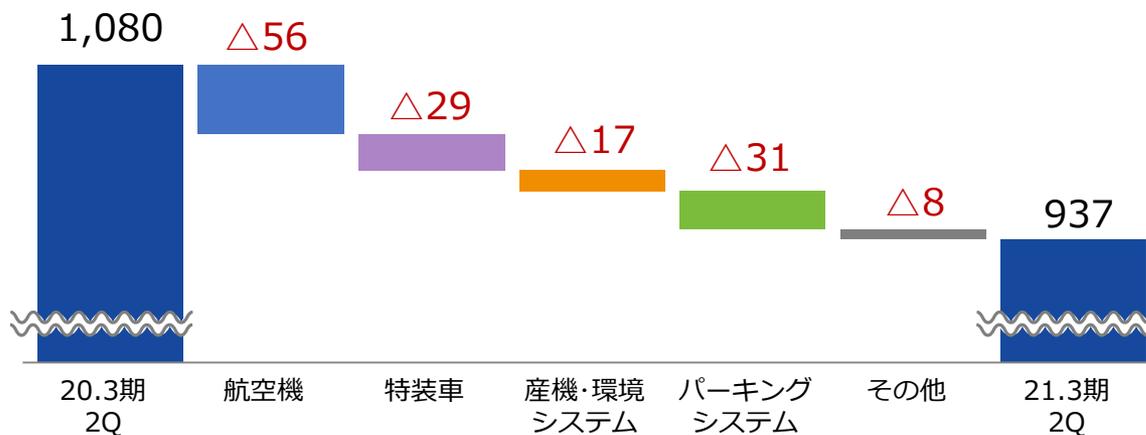
(単位：億円)

セグメント	売上高			営業利益		
	2020.3期 2Q	2021.3期 2Q	増減	2020.3期 2Q	2021.3期 2Q	増減
航空機	188	132	△56	10	△1	△11
特装車	466	436	△29	36	31	△4
産機・環境システム	157	140	△17	△0	△0	△0
パーキングシステム	185	154	△31	21	16	△4
その他※	82	73	△8	5	5	△0
配賦不能費	—	—	—	△11	△12	△0
合計	1,080	937	△143	60	38	△22

※「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業、不動産事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。

## 売上高

（単位：億円）



### 航空機

- ボーイング社向け製品の減収

### 特装車

- 建設関連車両、トレーラ等の減少による減収

### 産機・環境システム

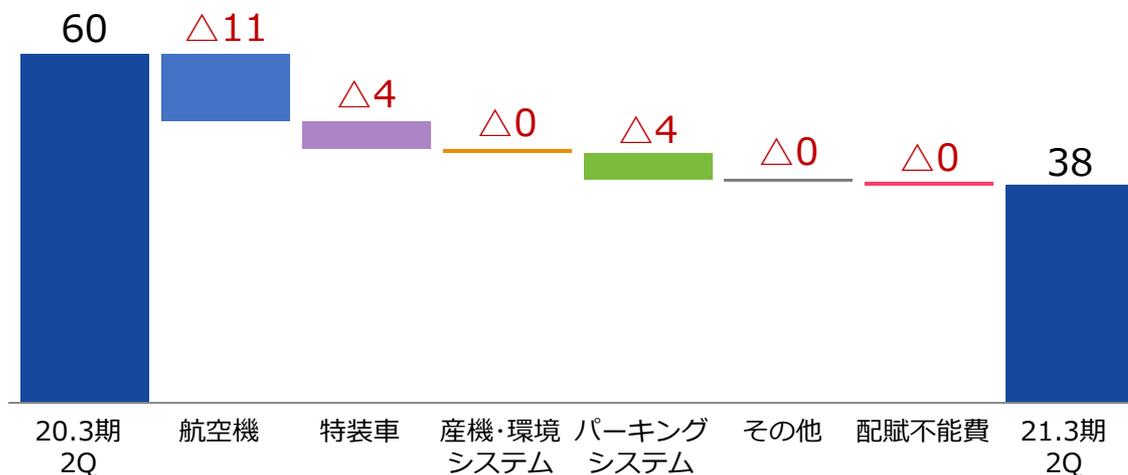
- メカトロニクス製品の減収

### パーキングシステム

- 機械式駐車設備、航空旅客搭乗橋いずれも減収

## 営業利益

（単位：億円）



### 航空機

- ボーイング社向け製品の生産機数減少による減益

### 特装車

- 減収による減益

### パーキングシステム

- 減収による減益

前期比

✓ コロナ禍に伴う受注・生産活動への影響を勘案し、減収減益を見込む

(単位：百万円)

	2020.3期 実績	2021.3期 予想		増減 (増減率)	
		7月公表	10月公表	前期比	7月公表比
売上高	227,231	210,000	210,000	△17,231 (△7.6%)	—
営業利益	12,836	8,500	8,500	△4,336 (△33.8%)	—
経常利益	12,375	8,700	8,700	△3,675 (△29.7%)	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,378	5,000	5,000	△2,378 (△32.2%)	—
為替レート (1USドル)	108.6円	108.0円	108.0円※		

227,231 : 過去最高

※10月公表の為替レートについては、公表日以降の前提レートを表示しています。

セグメント		影響度	コロナ禍における事業環境
航空機			ボーイング社の生産一時停止に伴い、当社においても2020年4月末～5月末までの1カ月間、「777/777X」「787」の生産を休止。ボーイング社の生産計画見直しにより、下期以降も当初計画に対して大幅な減産を見込み、収益確保に向けたコスト削減が必須。
特装車			コロナ禍により一時的に需要の落ち込みがあるものの、2Q末時点でセグメント全体で月商の9か月程度の受注残高も保有しており、下期以降に向けて徐々に回復する見込み。
産機・環境システム	流体製品		民需・海外市場向けは影響を受けるも、国内官需向けは比較的好調であり、通期で見た場合、業績への影響は限定的。
	メカトロニクス製品		自動車産業向けの設備が売上の大半を占め、前期の米中貿易摩擦に続き今期も顧客側の投資が抑制されている状況。ただし、中国・東南アジア市場は下期以降は徐々に回復基調に転じる見込み。
	環境関連事業		大半が公共向け案件であり、既受注案件の工事進行基準による売上計上に加え、ストック事業が業績を支え、業績への影響は限定的。
パーキングシステム			コインパーキングの稼働低迷などが影響するも、新設案件の受注を確保しており、これを順次工事進行基準で売上計上するため、業績への影響は限定的。収益の柱である保守事業も堅調。売上の一部を占める航空旅客搭乗橋は、空港施設の投資計画が一部先送りになるも、受注残高を確保しており、業績への影響は限定的。

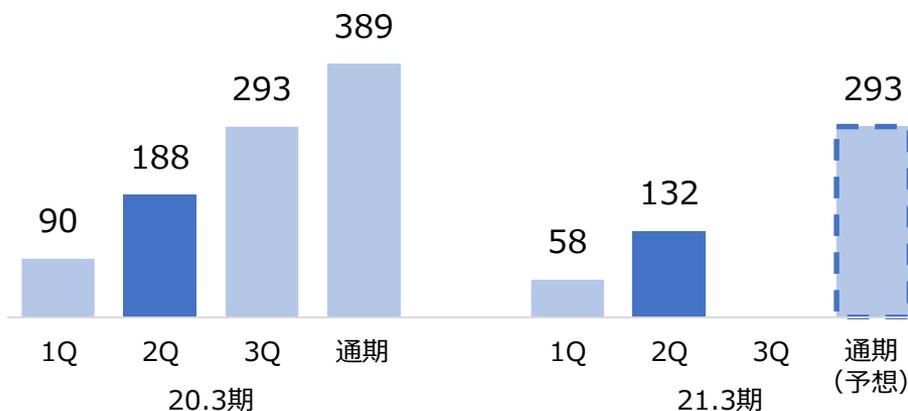
(単位：億円)

セグメント	売上高			営業利益		
	2020.3期 (実績)	2021.3期 (予想)	増減	2020.3期 (実績)	2021.3期 (予想)	増減
航空機	389	293	△96	15	△6	△22
特装車	946	900	△46	68	58	△9
産機・環境システム	383	371	△12	27	20	△7
パーキングシステム	378	358	△20	32	31	△1
その他※	174	178	+3	11	14	+2
配賦不能費	—	—	—	△26	△32	△5
合計	2,272	2,100	△172	128	85	△43

※「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業、不動産事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。

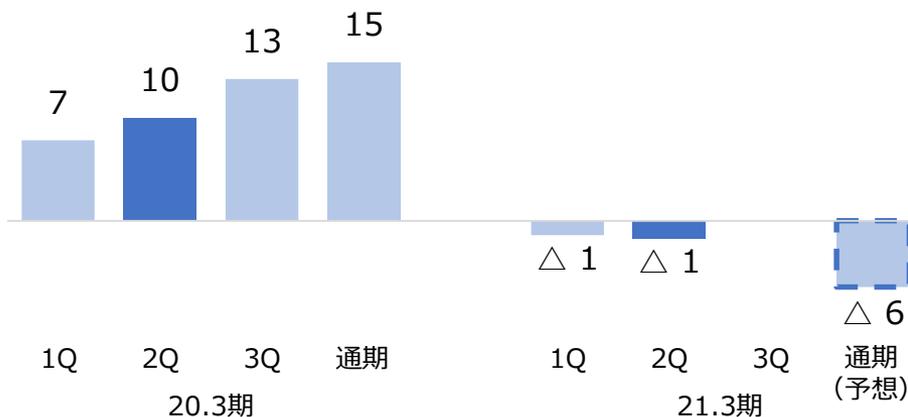
## 売上高

(単位：億円)



## 営業利益

(単位：億円)



## 第2四半期実績（前年同期比）

### ■ 売上高

防衛省向け：輸送機向けコンポーネントの増加  
 民需関連：「777/777X」「787」生産機数減少

### ■ 営業利益

- 「777/777X」「787」生産機数減少による減益
- 「787」売価差による減益

## 通期業績予想（前期比）

### ■ 売上高

防衛省向け：定期修理作業等の増加を見込む  
 民需関連：「777/777X」「787」生産機数減少を見込む

### ■ 営業利益

- 「777/777X」「787」生産機数減少による減益を見込む
- 「787」売価差による減益を見込む

### □ 民需関連 生産機数

(単位：機)

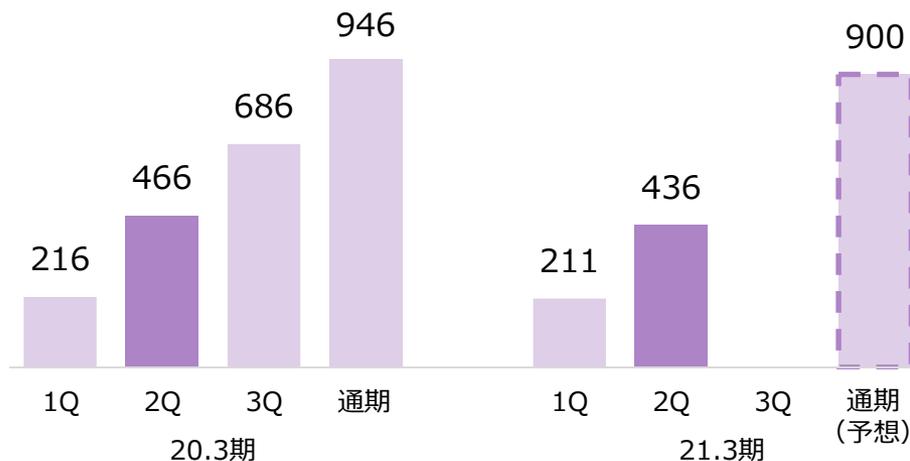
	2020.3期 2Q	2021.3期 2Q
777/777X	30	19
787	81	48
G7500	13	12

### □ 為替感応度（公表日以降）

1円の円安進行で  
 約0.5億円の営業利益増

## 売上高

(単位：億円)



## 第2四半期実績（前年同期比）

### ■ 売上高

- ・ 建設関連車両の減少
- ・ トレーラの減少

### ■ 営業利益

- ・ 減収による減益

## 通期業績予想（前期比）

### ■ 売上高

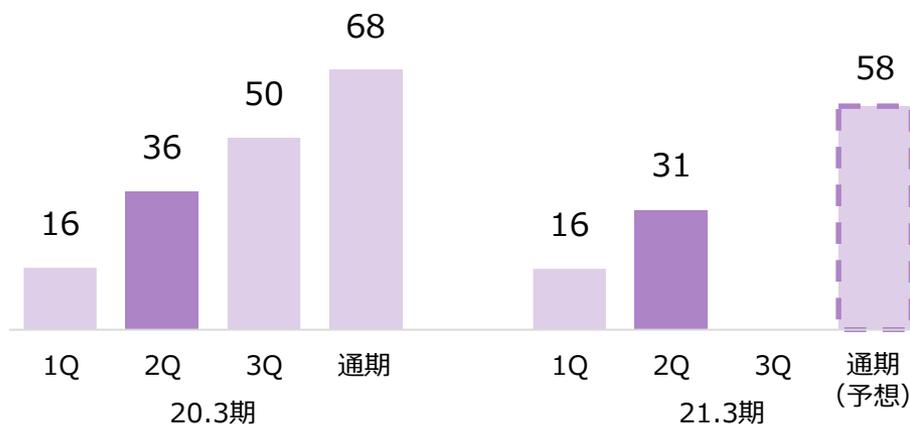
- ・ 建設関連車両の減少を見込む
- ・ トレーラの減少を見込む

### ■ 営業利益

- ・ 減収による減益を見込む

## 営業利益

(単位：億円)



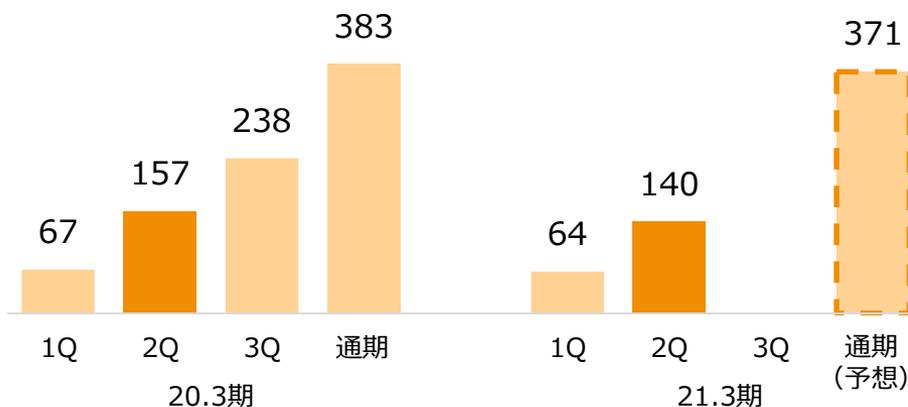
## □ 受注残高の推移

	2020.3期				2021.3期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
受注残高 (億円)	622	610	657	610	630	641
手持月数 (カ月)※	8.6	7.9	8.6	7.7	8.9	8.8

※受注～売上の平均期間、受注残高÷1カ月当たりの売上高で算出

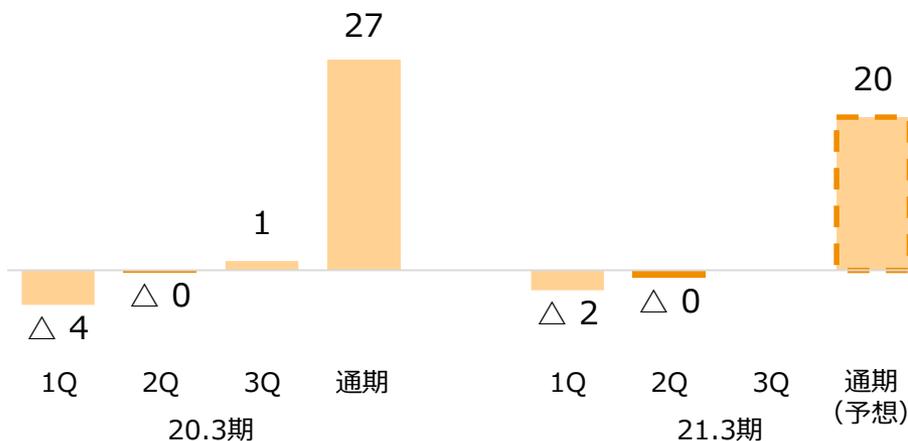
## 売上高

(単位：億円)



## 営業利益

(単位：億円)



## 第2四半期実績（前年同期比）

### ■ 売上高

- 流体製品：若干の減収
- メカトロニクス製品：自動電線処理機、真空成膜装置の減少
- 環境関連事業：新設案件の構成差による減少

### ■ 営業利益

- 前年同期並みの水準

## 通期業績予想（前期比）

### ■ 売上高

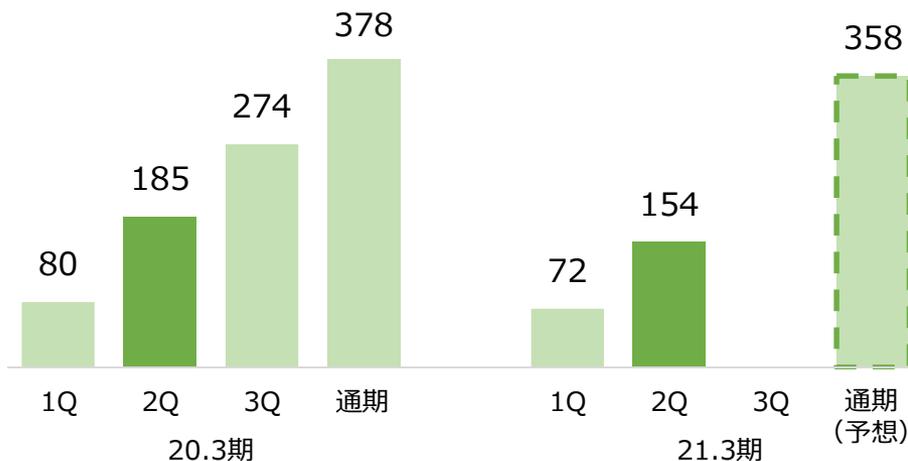
- 流体製品：前期並みの水準を見込む
- メカトロニクス製品：自動電線処理機、真空成膜装置の減少を見込む
- 環境関連事業：増収を見込む

### ■ 営業利益

- 流体製品は製品構成差等による減益を見込む
- メカトロニクス製品は悪化を見込む
- 環境関連事業は前期並みの水準を見込む

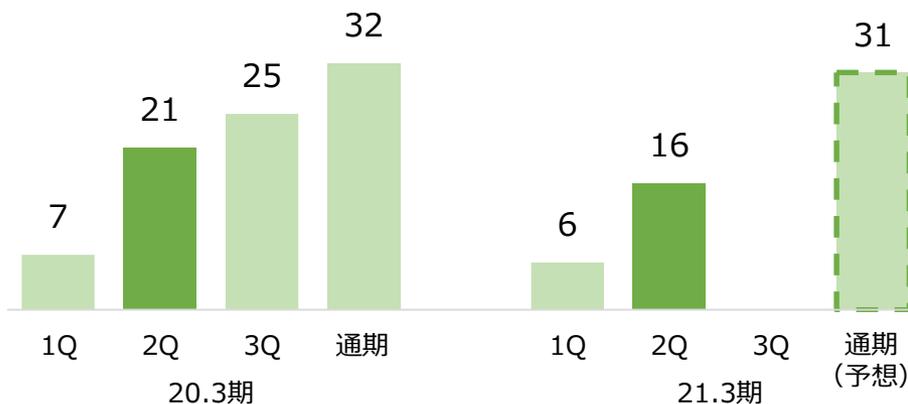
## 売上高

(単位：億円)



## 営業利益

(単位：億円)



## 第2四半期実績（前年同期比）

### ■ 売上高

- 機械式駐車設備：新設案件工事の減少  
改修修理、コインパーキング事業の減少
- 航空旅客搭乗橋：製品の納入基数の減少

### ■ 営業利益

- 減収による減益

## 通期業績予想（前期比）

### ■ 売上高

- 機械式駐車設備：新設案件工事の減少を見込む  
コインパーキング事業の減少を見込む
- 航空旅客搭乗橋：製品の納入基数の減少を見込む

### ■ 営業利益

- 減収による減益を見込む

## 2 コロナ禍の対策等

---

## 主な感染予防対策



**従業員の健康やお取引先、および社会全体への安全配慮を第一に考え、以下の対策を継続的に実施**

- ✓ 長距離出張の厳選
- ✓ 時差出勤および在宅勤務※の推奨  
(対象：実施可能な部門)
- ✓ 執務室・受付場所等における飛沫防止対策の実施
- ✓ 食堂施設における時差喫食の実施
- ✓ 入室時の手指消毒およびマスクの着用
- ✓ 社員の体調把握

## ※在宅勤務制度の導入



**新型コロナウイルスの感染予防に加え、「多様なワークスタイルの実現・定着」と「更なる生産性の向上」を目的に、10月から制度を導入**

**民間航空機需要の市場の回復は、  
早くても2023年度以降となる見込み**



**採算悪化を食い止める諸施策を実施**

### **コスト削減に向けた諸施策**

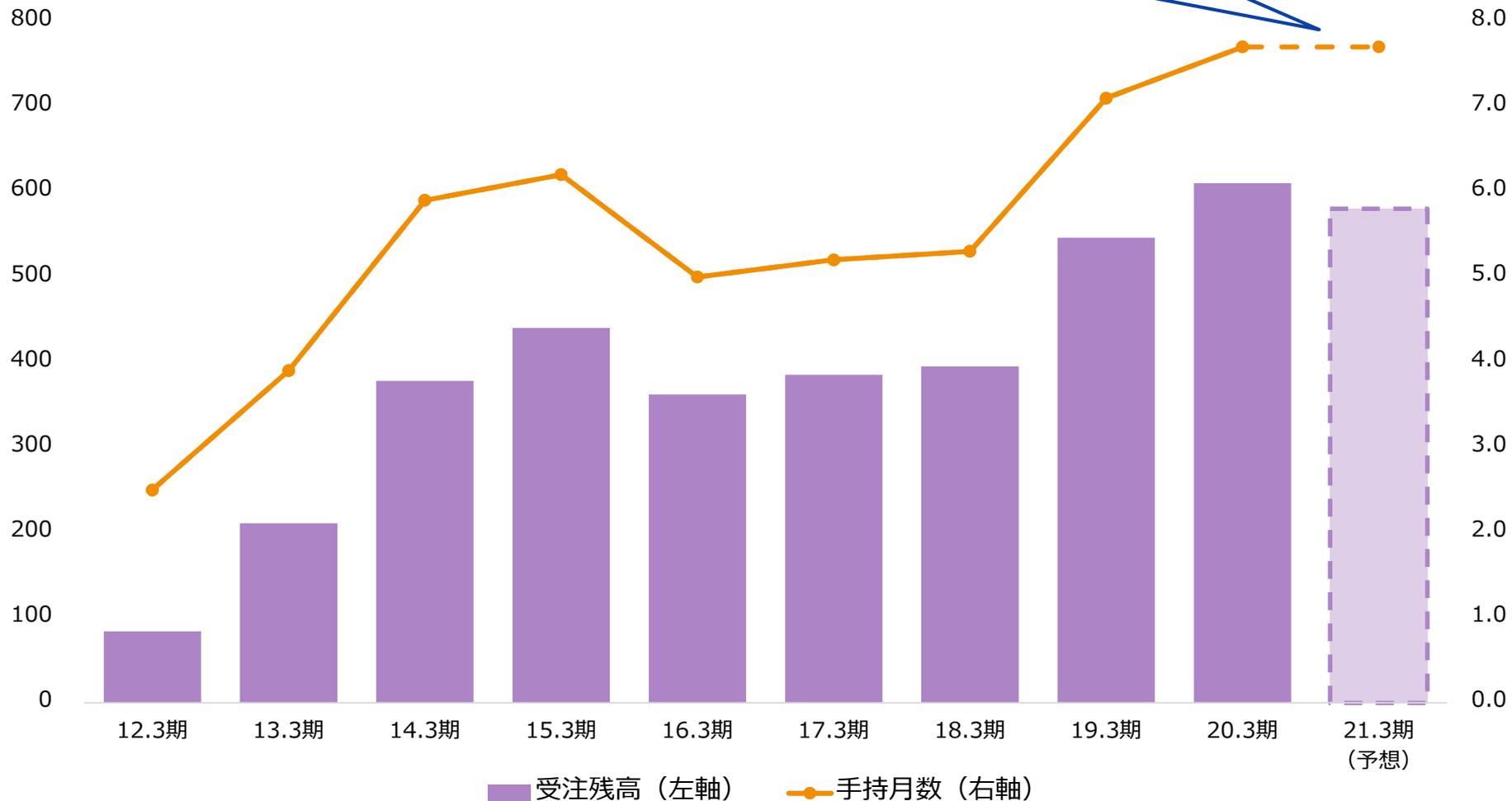
- ✓ 従来から取り組んでいる資材費や加工工数削減策の強化、および経費の圧縮
- ✓ 社外への資金の流出を防ぐ策として、一部外部に委託していた作業を内作化
- ✓ 人手不足の事業部およびグループ会社に従業員を配置転換  
→ 段階的に人員を適正化

来期以降の回収不足対策として、US-2型救難飛行艇（9号機）の早期受注獲得にも取り組む

## ■ 受注残高の推移

(単位：億円)

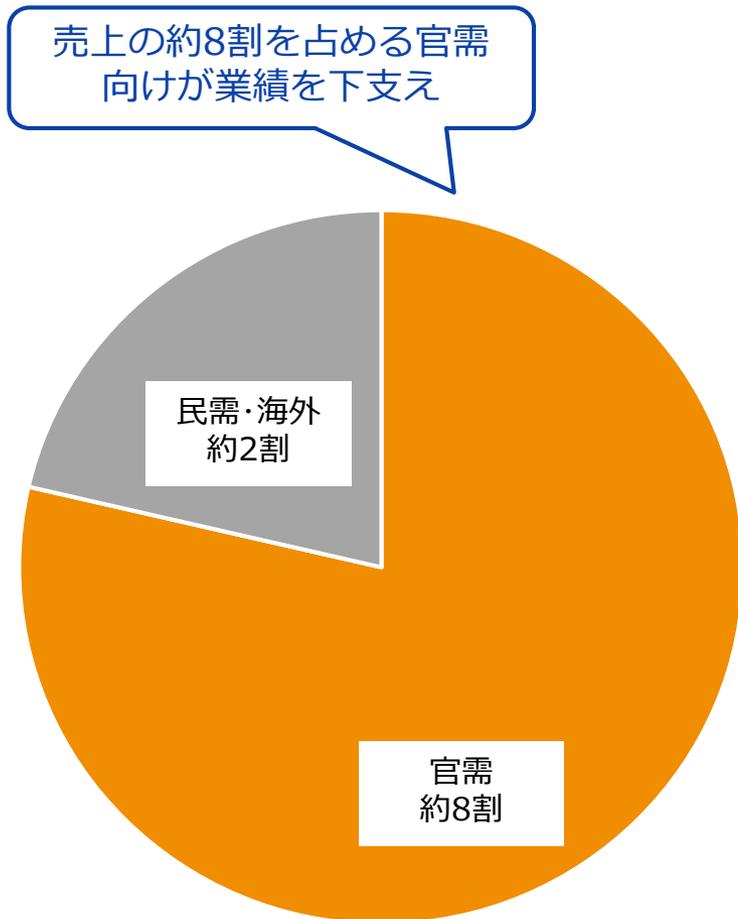
(単位：カ月)



月商の7~8カ月分程度の受注残高を保有して来年度の期初を迎える予想

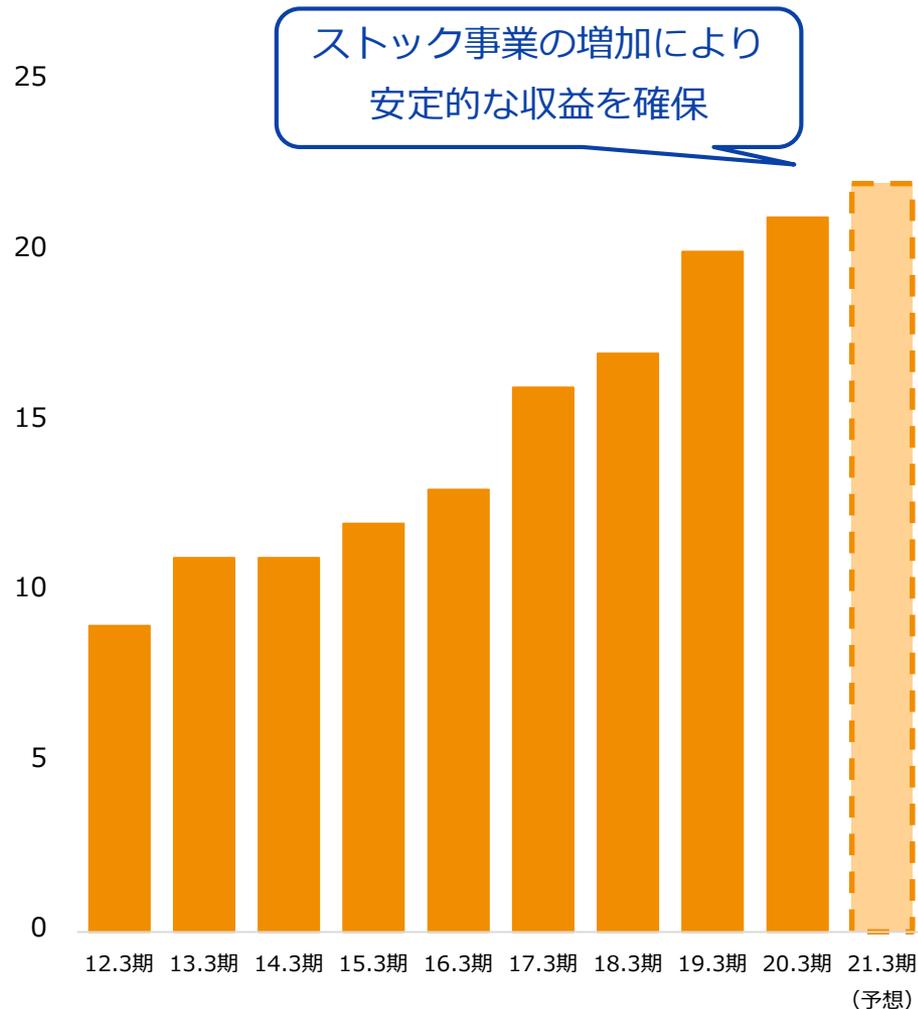
※手持月数：受注～売上の平均期間、受注残高÷1カ月当たりの売上高で算出

## ■ 流体製品 市場別売上構成比（2020.3期）



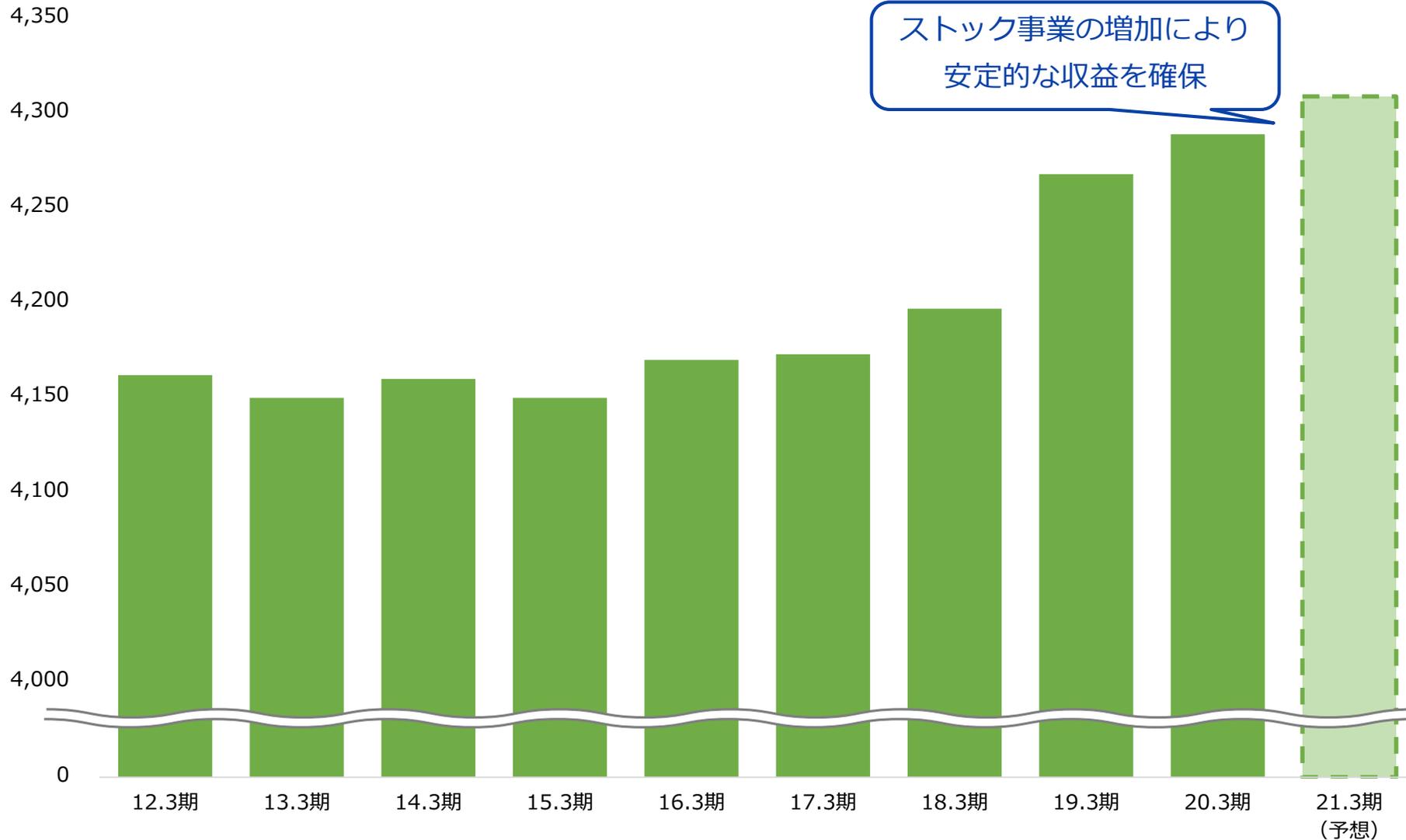
## ■ 環境関連事業 運営管理を担う施設数の推移

(単位：施設)



## ■ 機械式駐車設備 保守契約基数の推移（大型機）

(単位：基)



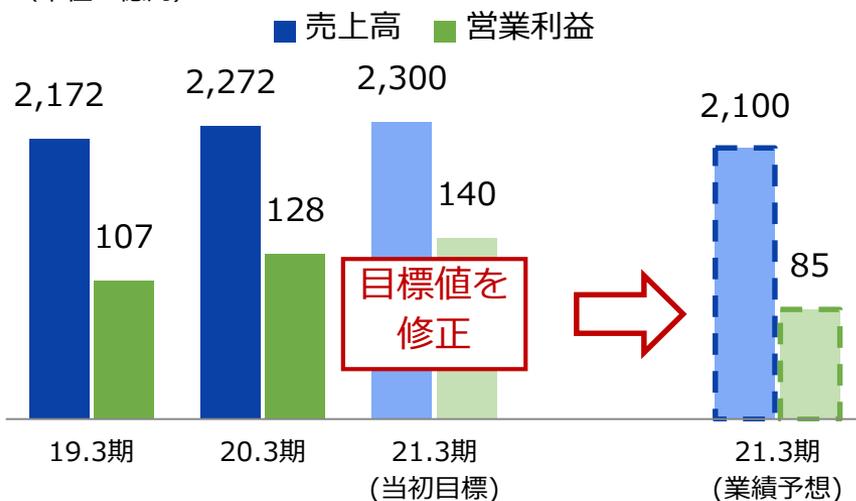
## 業績目標 ※2020年7月に下方修正

計画期間最終年度（2021.3期）の目標値を以下のとおり修正

(単位：億円)

	2019.3期	2020.3期	2021.3期	
			当初目標	業績予想
連結売上高	2,172	2,272	2,300	2,100
連結営業利益	107	128	140	85
ROE	6.8%	8.9%	8.0%以上	6.0%

(単位：億円)



\* 中期経営計画「Change for Growing,2020」の略称

## 方策 ※コロナ禍においても継続して実施

コロナ禍の影響を受けて一部の施策に遅延が発生するも、遂行できる事項は継続して実施

### ① 基盤事業の規模拡大・収益向上策

- 製品サービス
  - (a) IoTやAI等を駆使した次代型製品開発
  - (b) ソリューション提案力、サービス体制強化
  - (c) 生産合理化投資、人材育成
- 海外市場
  - (a) 戦略地域拡大と販売強化
  - (b) 現地パートナー発掘、協業推進
  - (c) 自社工場建設⇒生産能力・コスト競争力強化
- M&A、アライアンス
  - シナジーが期待できる相手先とのM&A、業務提携等のアライアンス強化

### ② 株主還元策

- 連結ベースで配当性向40～50%を基本に実施
- 資本効率向上を意識した自己株式の取得

(単位：億円)

セグメント	売上高			営業利益			主な増減要因
	当初目標	業績予想	増減	当初目標	業績予想	増減	
航空機	410	293	△117	32	△6	△38	<ul style="list-style-type: none"> <li>「787」生産機数の大幅な減少</li> <li>「787」売価が当初想定より低下</li> <li>「G7500」製造原価が高止まり</li> </ul>
特装車	865	900	+35	50	58	+8	<ul style="list-style-type: none"> <li>中期経営計画策定時はオリンピックに関連する建設需要のピークアウト等、市場の冷え込みを予想するも、受注は高水準を維持</li> </ul>
産機・環境システム	435	371	△64	37	20	△17	<ul style="list-style-type: none"> <li>顧客の中心が自動車産業であるメカトロニクス製品において、米中貿易摩擦・コロナ禍により受注が低迷 (M&amp;A効果により売上規模は拡大)</li> </ul>
パーキングシステム	440	358	△82	32	31	△1	<ul style="list-style-type: none"> <li>マンション・ホテル建設の活況による機械式駐車設備(エレベータ方式)の売上規模拡大と、売価改善に向けた営業活動の強化などにより、当初目標に近い営業利益を確保できる見込み</li> </ul>
その他※	150	178	+28	13	14	+1	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設事業が堅調に推移</li> </ul>
配賦不能費	—	—	—	△24	△32	△8	<ul style="list-style-type: none"> <li>福利厚生施設(寮・社宅)の建て替えに伴う費用、およびIT関連の費用が増加</li> </ul>
合計	2,300	2,100	△200	140	85	△55	

※「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業、不動産事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。

## 次期中期経営計画

以下内容等を盛り込んだ3カ年の中期計画を検討中

- ✓ 航空機セグメントの収益改善策（コスト削減策の具体化等）
- ✓ 各セグメントの収益確保・拡大策（「CFG2020」継続施策、および新たな成長施策の推進）

開示予定時期：2021年春

## 長期ビジョン

2020年4月に、新明和グループが目指す2030年の姿を表した「長期ビジョン」を制定

**グローバルな社会ニーズに応え、  
都市・輸送・環境インフラの高度化に貢献する  
価値共創カンパニーを目指します。**

- ✓ 新明和グループが、今後も持続的な企業成長を図るために、グローバル市場を視野に入れ、お客様のニーズや社会課題に対し最適なソリューションで応えていく、という思いを込めて制定したもの
- ✓ サステナブル経営を通じて、多様な環境の変化にも適応する盤石な経営基盤を構築する

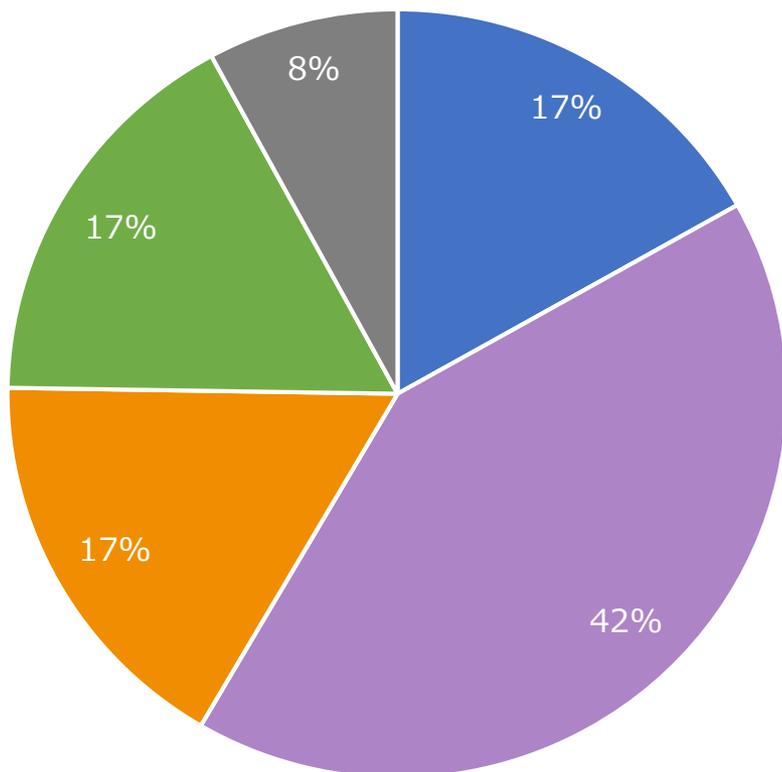
「長期ビジョン」実現に向けた経営戦略：2021年春にアウトラインを開示予定

# 補足資料

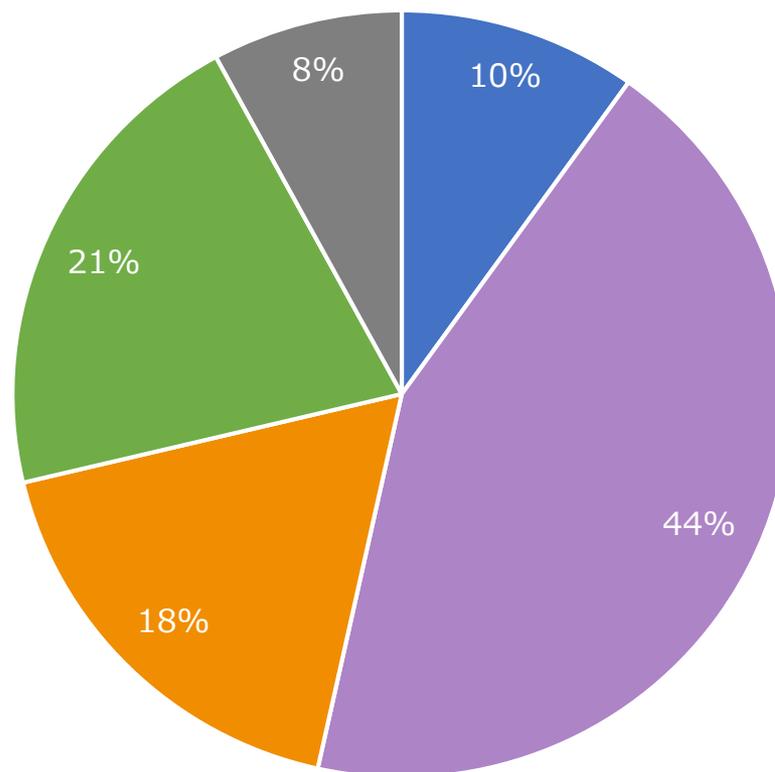
---

商号	新明和工業株式会社
本社	兵庫県宝塚市新明和町1-1
設立	1949年11月5日
資本金	15,981,967,991円
代表者	取締役社長 五十川 龍之 (いそがわ たつゆき)
従業員数	連結 5,461名 単体3,054名 (2020年9月末現在)
連結子会社	26社

## ■ 売上高の割合



## ■ 営業利益の割合

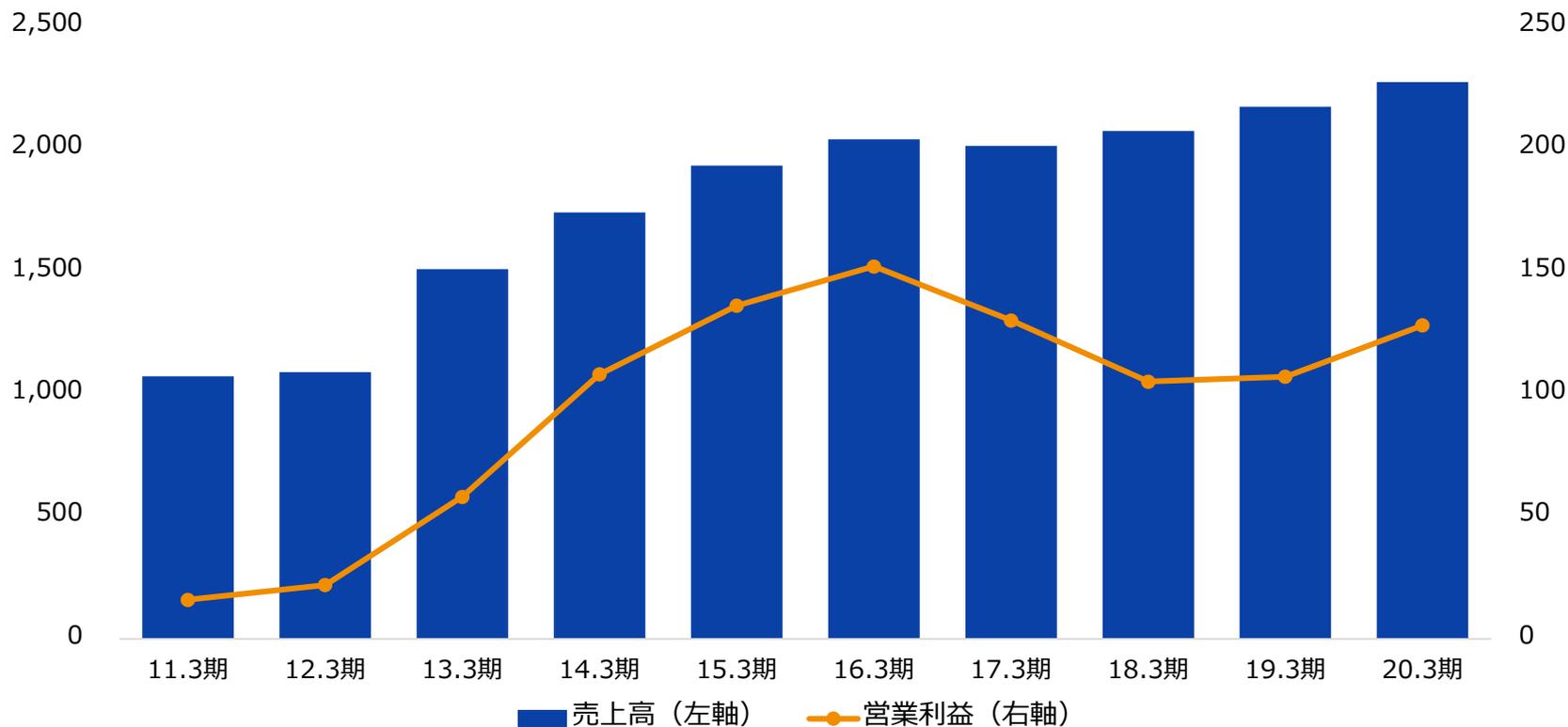


■ 航空機 ■ 特装車 ■ 産機・環境システム ■ パーキングシステム ■ その他

※営業利益は、各セグメントの営業利益を単純合計しており、配賦不能費は計算に含んでおりません。

(単位：億円)

(単位：億円)



(単位：億円)

	11.3期	12.3期	13.3期	14.3期	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	20.3期
売上高	1,072	1,089	1,509	1,740	1,931	2,039	2,012	2,073	2,172	2,272
営業利益	16	22	58	108	136	152	130	105	107	128
経常利益	13	21	64	114	143	155	132	107	104	123
親会社株主に帰属する 当期純利益	△17	△2	113	74	91	102	89	70	69	73

：過去最高

項目	2016.3期	2017.3期	2018.3期	2019.3期	2020.3期
売上高 (百万円)	203,917	201,204	207,335	217,297	227,231
営業利益 (百万円)	15,260	13,067	10,594	10,708	12,836
営業利益率 (%)	7.5	6.5	5.1	4.9	5.6
PBR (倍)	0.70	0.86	0.67	1.09	0.89
PER (倍)	7.74	11.41	11.79	18.01	9.95
ROE (%)	9.4	7.7	5.8	6.8	8.9
ROA (%)	5.6	4.8	3.7	3.5	3.5

(単位：百万円)

セグメント	項目	2016.3期	2017.3期	2018.3期	2019.3期	2020.3期
航空機	売上高	47,262	39,028	40,699	43,635	38,950
	営業利益	6,546	2,000	1,368	649	1,551
	営業利益率 (%)	13.9	5.1	3.4	1.5	4.0
特装車	売上高	87,462	89,304	90,317	92,333	94,627
	営業利益	6,748	8,348	6,313	6,544	6,802
	営業利益率 (%)	7.7	9.3	7.0	7.1	7.2
産機・環境システム	売上高	30,155	29,451	30,099	33,810	38,370
	営業利益	1,985	2,219	2,468	2,474	2,748
	営業利益率 (%)	6.6	7.5	8.2	7.3	7.2
パーキングシステム	売上高	29,359	31,145	31,979	33,863	37,805
	営業利益	1,814	1,850	1,780	2,343	3,223
	営業利益率 (%)	6.2	5.9	5.6	6.9	8.5
その他	売上高	9,677	12,274	14,239	13,654	17,476
	営業利益	796	960	1,049	1,037	1,193
	営業利益率 (%)	8.2	7.8	7.4	7.6	6.8

## ■ 連結貸借対照表

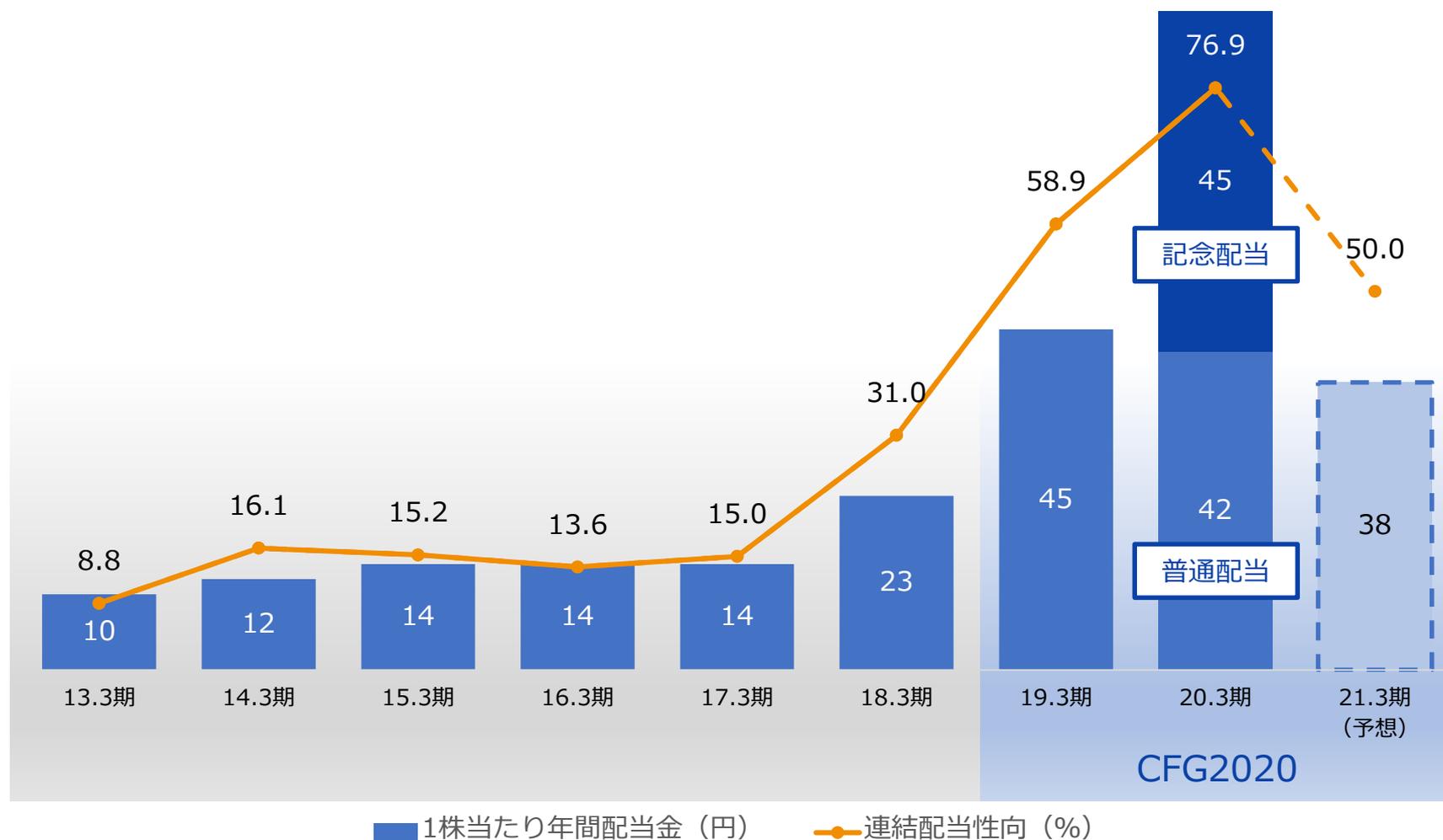
(単位：百万円)

	2020.3期末	2021.3期 2Q末	増減
現預金	19,342	21,535	+2,192
売上債権	81,755	62,021	△19,734
棚卸資産	42,499	47,268	+4,769
有形・無形固定資産	40,622	42,920	+2,297
その他資産	29,937	28,578	△1,359
<b>資産合計</b>	<b>214,157</b>	<b>202,324</b>	<b>△11,833</b>
買入債務	27,464	20,298	△7,165
有利子負債	57,568	55,981	△1,587
その他負債	45,444	41,023	△4,421
<b>負債合計</b>	<b>130,477</b>	<b>117,303</b>	<b>△13,174</b>
自己資本	82,946	84,173	+1,227
その他純資産	734	847	+113
<b>純資産合計</b>	<b>83,680</b>	<b>85,021</b>	<b>+1,340</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>214,157</b>	<b>202,324</b>	<b>△11,833</b>
自己資本比率	38.7%	41.6%	

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

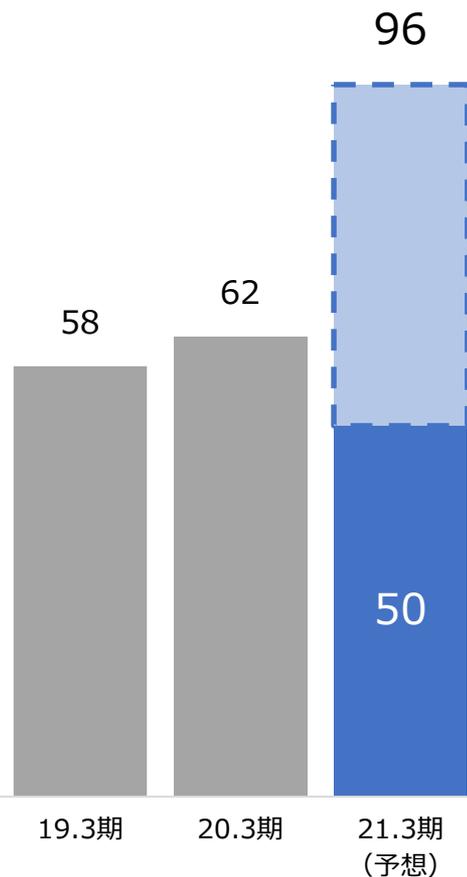
(単位：百万円)

	2020.3期 2Q	2021.3期 2Q	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	4,660	9,204	+4,543
投資活動による キャッシュ・フロー	△5,088	△4,112	+975
フリー・ キャッシュ・フロー	△428	5,091	+5,519
財務活動による キャッシュ・フロー	△4,157	△3,042	+1,115



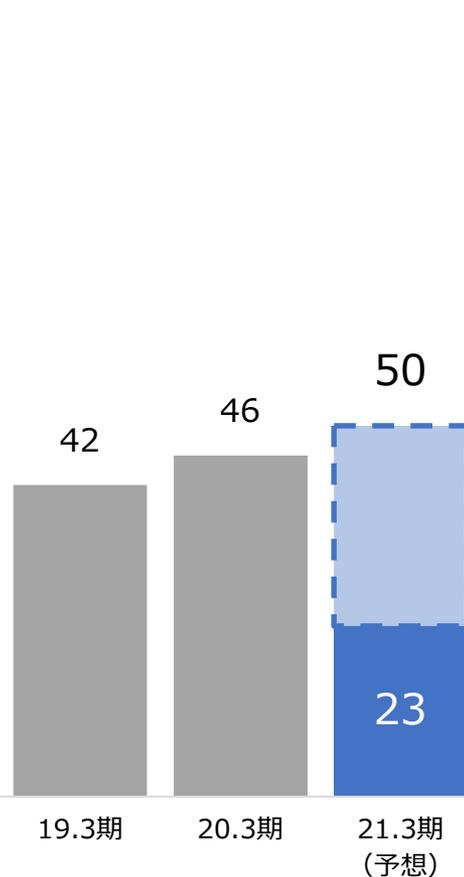
## ■ 設備投資額（有形）

（単位：億円）



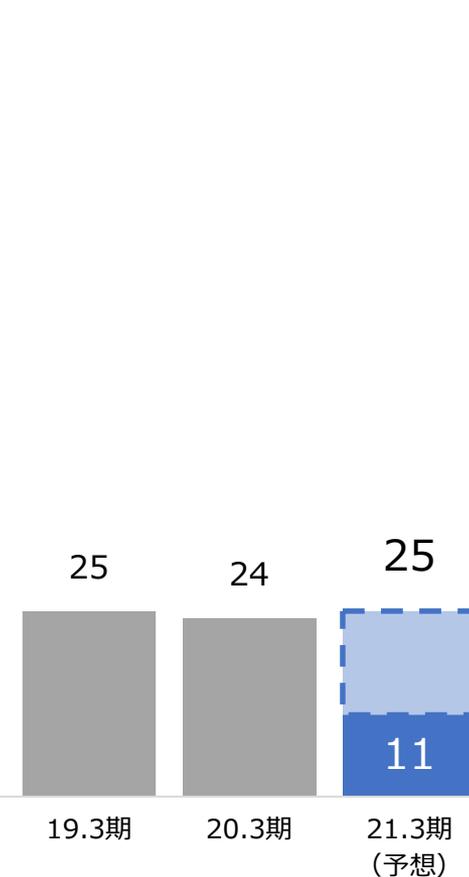
## ■ 減価償却費（有形）

（単位：億円）



## ■ 研究開発費

（単位：億円）



下段：2Q実績

本資料は、新明和工業株式会社（以下「当社」といいます。）またはそのグループ会社（以下「当社グループ」といいます。）に関連する見通し、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価などといった、将来に関する記述をはじめとする過去の事実以外の情報（以下「将来情報」といいます。）を含む場合があります。また当社の経営陣は将来情報に関する発言を行うことがあります。これらの将来情報の記載は、当社が入手した情報に基づく、本資料の日付（またはそこに別途明記された日付）時点における当社の予測を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・目標等を策定するためには、過去の事実以外に、一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。

したがって、将来情報は、不確実性やリスク要因をあわせて考慮する必要がある点にご留意ください。当社の実際の業務・業績に著しい悪影響を及ぼす可能性がある重要なリスク要因は多数ありますが、これらに関する追加情報については、当社の決算短信、有価証券報告書、アニュアルレポート等の当社の各種開示書類にも詳細な記載がございますので、ご参照ください。

なお、本資料における将来情報に関する記述は、上記のとおり本資料の日付（またはそこに別途明記された日付）時点のものであり、本資料の作成日以降に生じた事情により、将来情報に変更があった場合でも、当社はそれらの情報を最新のものに随時更新するという義務を負いかねますのでご了承ください。

また、本資料に記載されている当社ないし当社グループ以外の企業等にかかわる情報や意見は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。なお、本資料で使用するデータおよび表現等の欠落、誤謬、本情報の使用により引き起こされるいかなる損害等についても、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

本資料は、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資に関する判断は、投資家各位の判断において行っていただきますよう、お願いいたします。

新明和工業株式会社